

志賀原子力発電所 1号機第 6 回定期検査の開始について

平成12年9月14日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格出力 54 万キロワット）は、平成 12 年 9 月 19 日から発電を停止し、平成 12 年 12 月上旬までの予定で第 6 回定期検査を実施します。

この検査は、電気事業法に基づいて年 1 回実施するもので、原子炉本体、原子炉冷却系統設備、原子炉格納設備等の点検を実施する他、全燃料 368 体のうち 104 体（予定）を新燃料に取り替えます。

以 上

1 . 定期検査のための期間

平成12年9月19日から平成12年12月上旬まで

- ・ 発電停止 : 平成12年 9月19日
- ・ 発電開始 : 平成12年11月中旬
- ・ 総合負荷性能検査 : 平成12年12月上旬

2 . 定期検査を実施する主な設備

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納設備
- (8) 非常用予備発電設備
- (9) 蒸気タ - ビン
- (10) 電気設備

3 . 定期検査期間を利用して実施する主な工事等

(1) 出力領域計測装置検出器取替

計測制御系統設備の核計測装置のうち出力領域計測装置の検出器集合体（全数20体、検出器個数80個）4体を取り替え、性能維持を図ります。

(2) 制御棒駆動機構取替

制御棒駆動機構89体のうち分解点検を行う13体について、同一設計の予備品と取り替え、点検作業の効率化を図ります。

(3) **燃料の一部取替**

原子炉内の全燃料（368体）のうち、104体（予定）を新燃料に取り替えます。

(4) **アクシデント・マネジメント対策**

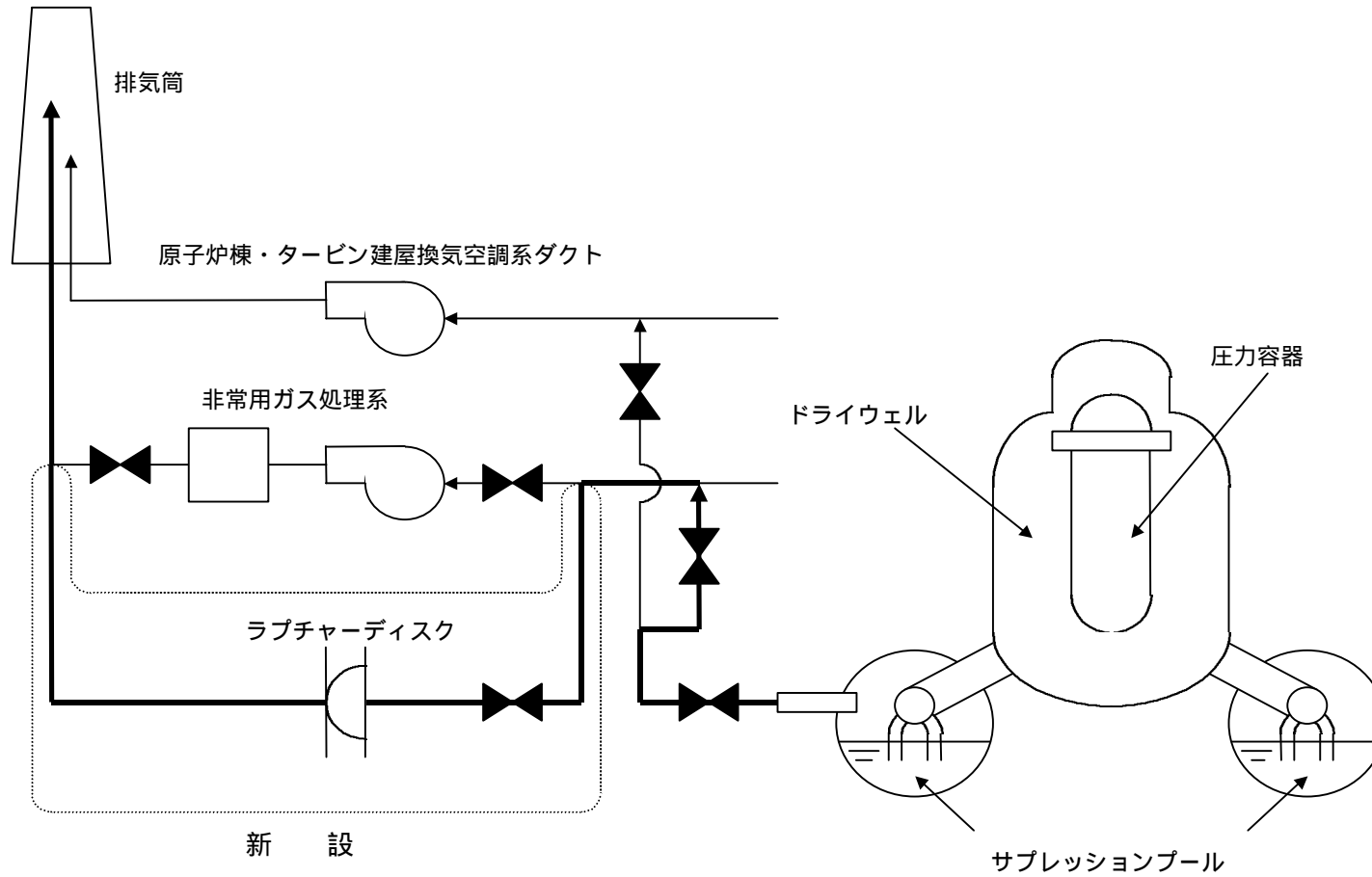
次の格納容器からの除熱機能の強化策を実施します。

格納容器内に崩壊熱が放出された場合の除熱手段として、現状の格納容器スプレイ冷却系に加え、サブプレッションプールを通じ除熱を行う、耐圧性を強化したベントラインを設置する。

以 上

アクシデント・マネジメント対策

格納容器からの除熱機能の強化



——：太線はベントラインを意味する。

格納容器：主にドライウェルとサプレッションプールで構成。

原子炉圧力容器やその付帯設備を収納する鋼板製の気密容器であり、原子炉事故時に放射性物質が周辺環境へ放散することを防止するための格納施設